

第21回 FiaS Monthly Caféのご案内

福岡市産学連携交流センター入居者及び関係者の皆様

平素よりセンターの運営にご協力をいただき感謝申し上げます。

FiaS では入居者の相互交流を一層深めるとともに、市民・地場企業等のみなさまの出会いを促進する場としてセンターの活用をはかるべく、公開形式の交流会「FiaS Monthly Café」を開催しております。皆様のご参加をお待ちしております。

日時：令和3年9月24日（金）16時00分～17時00分

会場：オンライン開催（Zoom ミーティング）

話題提供者：渡邊 公一郎 氏（国際協力機構（JICA）シニアアドバイザー、九州大学名誉教授）

話題：ゼロエミッション下でのクリティカルミネラルと国際協力

2012年のFIT制度導入後、10%であった再エネ比率は23%にまで拡大し2015年に設定した2030年の目標値を5年で達成しました（自然エネルギー導入量は再エネ全体で世界第6位（2018年）、太陽光発電は世界第3位（2018年））。発電電力量の伸びは、2012年以降、約3倍に増加というペースであり、再エネの導入は着実に進展しています。多くの企業が脱炭素化に向けた取組を進めていますが、2050年に実質的排出をゼロにするという目標に鑑みると、再エネの大幅な増加には未だほど遠いのが現状です。

このような状況下で、我が国がカーボンニュートラルを進めるために欠かせないのが、もともと我が国で入手困難な重要鉱物資源（クリティカルミネラル）であり、その必要量の増加をどう補うのか、あまり議論されていません。特定の国が鉱物資源のサプライチェーンを恣意的にコントロールし、政争の具に利用するリスクがあり、欧米諸国でも重要鉱物資源の供給リスクは問題となっています。

ゼロエミッション下で、どのような重要鉱物資源が我が国で必要となり、それらのサプライチェーンはどうなっているかを説明します。また、特定の国や地域に依存しない資源サプライチェーンを作るには資源産出途上国を含め多様な国々とのパートナーシップ作りも重要となります。我が国が、それらの国でどのようなODA事業を行っているのかについても、JICAシニアアドバイザーの立場から解説します。

参加方法：どなたでも参加できます（無料）。参加ご希望の方は、**下記 URL または 右 QR コード**から、本 Zoom ミーティングサイトにアクセスし、参加登録してください。

★参加登録サイト URL：

<https://isit-or-jp.zoom.us/meeting/register/tZ0pcemtqzgiGNyfKZ0Kc9b3mFI1SG8UPyxS>

登録後、ミーティング参加用 URL など、必要な情報がメールで自動返信されます。

当日は開始15分前から接続可能です。お好きな飲み物を片手に、どうぞお気軽にご参加下さい。



主催：FiaS 交流促進ワーキンググループ（福岡市、ISIT、OPACK、九州大学、西鉄ビルマネジメント）